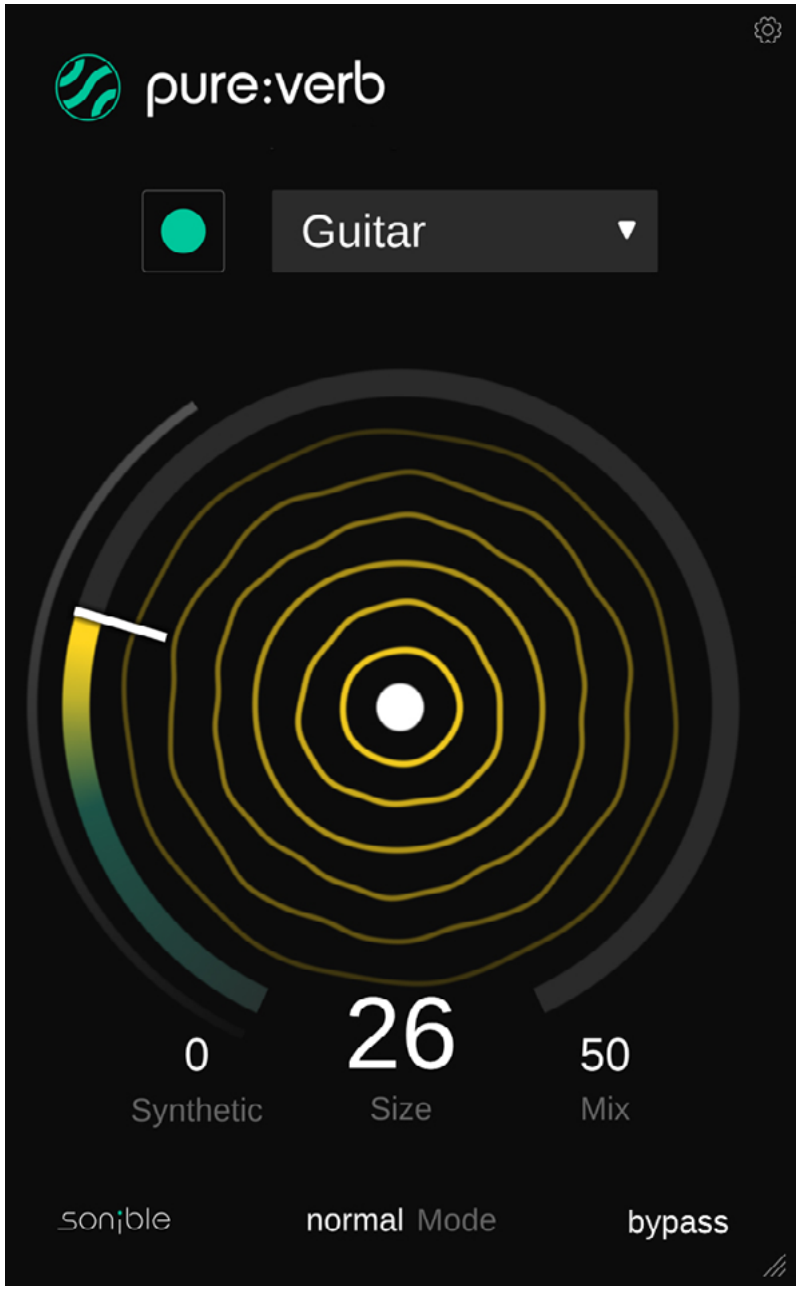


pure:verb

ピッタリなリバーブを

目次

pure:verbへようこそ	3
インストール	4
オーソライズ	5
ユーザーインターフェイス	6
はじめに	7
細かな調整	8
設定ページ	9

pure:verbへようこそ

pure:verbを使えば、どんな音源の特性にもマッチするリバーブエフェクトを驚くほど簡単に作成できます。

シンプルでありながら強力なコントロールセットで、どんな入力信号にも完璧にフィットするリバーブエフェクトを作成します。

pure:verbは、入力オーディオのスペクトル特性を分析してから、手袋をはめたようにフィットする完璧なリバーブプロファイルを生成します。

計算されたリバーブは、響きすぎた低音域、中音域の濁り、耳にさわる過度な高音域を自動的に調整します。創造性と音のビジョンに導かれ、求める雰囲気を具現化することだけに集中できます。

システム要件

CPU
Intel Core i5
AppleM1

RAM
4GB

オペレーティングシステム
Windows 10+ (64 bit)
Mac OS 10.12+

OpenGL Version 3.2+

⚠ pure:verb プラグインを正常にインストールするためには、管理者権限が必要です。

Mac OSX

Mac　OSXの場合、インストールを開始するには、ディスクイメージsonible_pureverb_osx_x.x.x.dmgを開いてください。これにより、マウントされ、インストールパッケージの内容が表示されるFinderウィンドウが開きます。

システムにpure:verbをインストールするには、インストールファイルpureverb.pkgを実行してください。

インストーラーが必要な手順を案内し、pure:verbをコンピュータにインストールします。pure:verbは、オーディオプラグインのデフォルトの場所に自動的にインストールされます。

デフォルトフォルダ：

Audio Unit
/Library/Audio/Plug-Ins/Components/

VST
/Library/Audio/Plug-Ins/VST/

VST3
/Library/Audio/Plug-Ins/VST3/

AAX
/Library/Application Support/Avid/Audio/Plug-Ins/

Windows

インストールを開始するには、ダウンロードしたzipファイルsonible_pureverb_win_x.x.x.zipをハードディスクに展開し、インストーラーを実行してください。

インストーラーが必要な手順を案内し、pure:verbをコンピュータにインストールします。pure:verbは、オーディオプラグインのデフォルトの場所に自動的にインストールされます。

デフォルトフォルダ：

VST3
C:\Program Files\Common Files\VST3\

VST
C:\Program Files\Common Files\VST\

AAX
C:\Program Files\Common Files\Avid\Audio\Plug-Ins

ライセンス方式

ライセンス方式は、マシンベースとiLok(USBドングル)の2種類から選択可能です。

www.sonible.com でユーザーアカウントを作成し、製品を登録することで、ダッシュボードにまだ表示されていない製品のプラグインアクティベーションを管理することができます。

マシンベース

ライセンスキー1つでpure:verbを、固有のシステムIDを持つ2台のコンピュータにインストールすることができます。これらのシステム ID は、ライセンス認証の際に登録されます。

同じライセンスを複数のユーザーが使用することができますが、各ユーザーは自分のアカウントでpure:verbのフルバージョンを個別にアンロックする必要があります。

システムIDが変更された場合(例：ハードディスクドライブの交換など)、sonibleユーザーアカウントのダッシュボードで、該当するシステムIDの隣にあるプラグインの取り消し/アクティベート(revoke/Activate)を行うことができます。

iLok

1つのアクティベーションをiLokに転送したい場合は、まずプラグインがsonibleユーザーアカウントに登録されていることを確認します。ダッシュボードのプラグインの横にある「transfer to iLok」ボタンをクリックし、指示に従って操作してください。

注意：第1世代のiLokドングルとiLokクラウドは現在サポートされていません。

ロック解除

pure:verbのライセンスをオンラインで購入された方は、ライセンスキーはメールでお送りします。

マシンベースのロック解除

pure:verbを初めて起動すると、有効なライセンスキーでpure:verbのロックを解除するように求める通知ウィンドウが表示されます。

登録作業を開始する前に、パソコンがインターネットに接続されていることを確認してください。
ライセンスキーを入力して、「register.」をクリックします。プラグインは、ライセンスが有効かどうかを確認するために弊社サーバーと通信します。ライセンスが有効であれば完了です。お楽しみください!

iLok

ライセンスをiLokに転送した場合は、iLokをパソコンに接続するだけでプラグインは自動的に登録され、お楽しみいただけます!

数分以内にメールが届かない場合は、まず迷惑フォルダをご確認の上、弊社サポート(support@sonible.com)までご連絡ください。

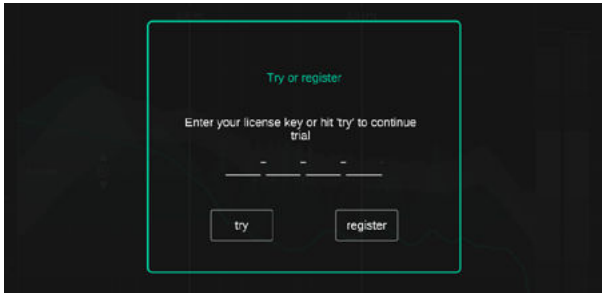
体験版

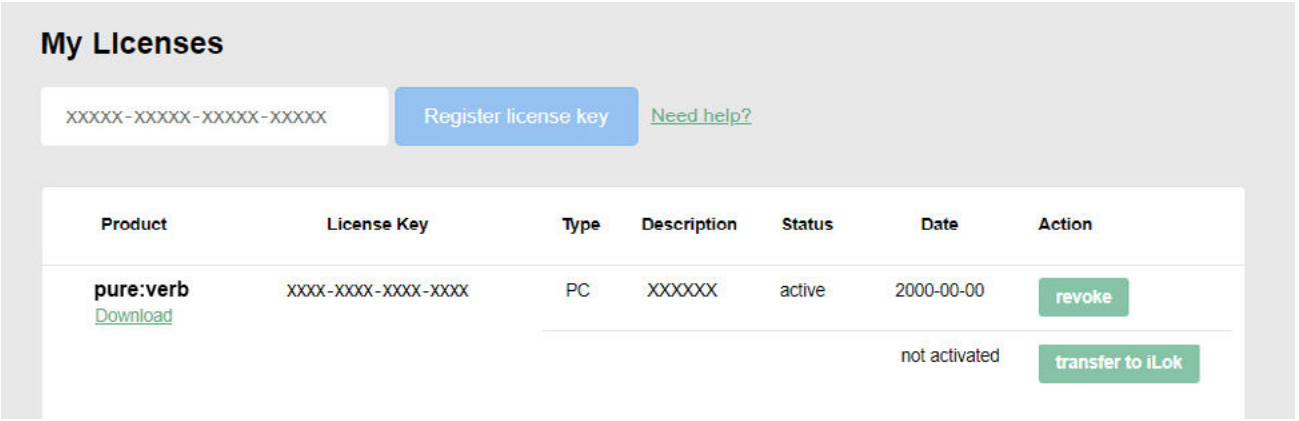
デモモードでpure:verbを実行するには、「try」をクリックするだけで、数日間、制限なくpure:verbを使用することができます。(現在のpure:verbのデモ期間については、弊社ウェブサイトをご参照ください。)

デモ期間が終了した場合、プラグインを継続して使用するためには正規ライセンスを購入する必要があります

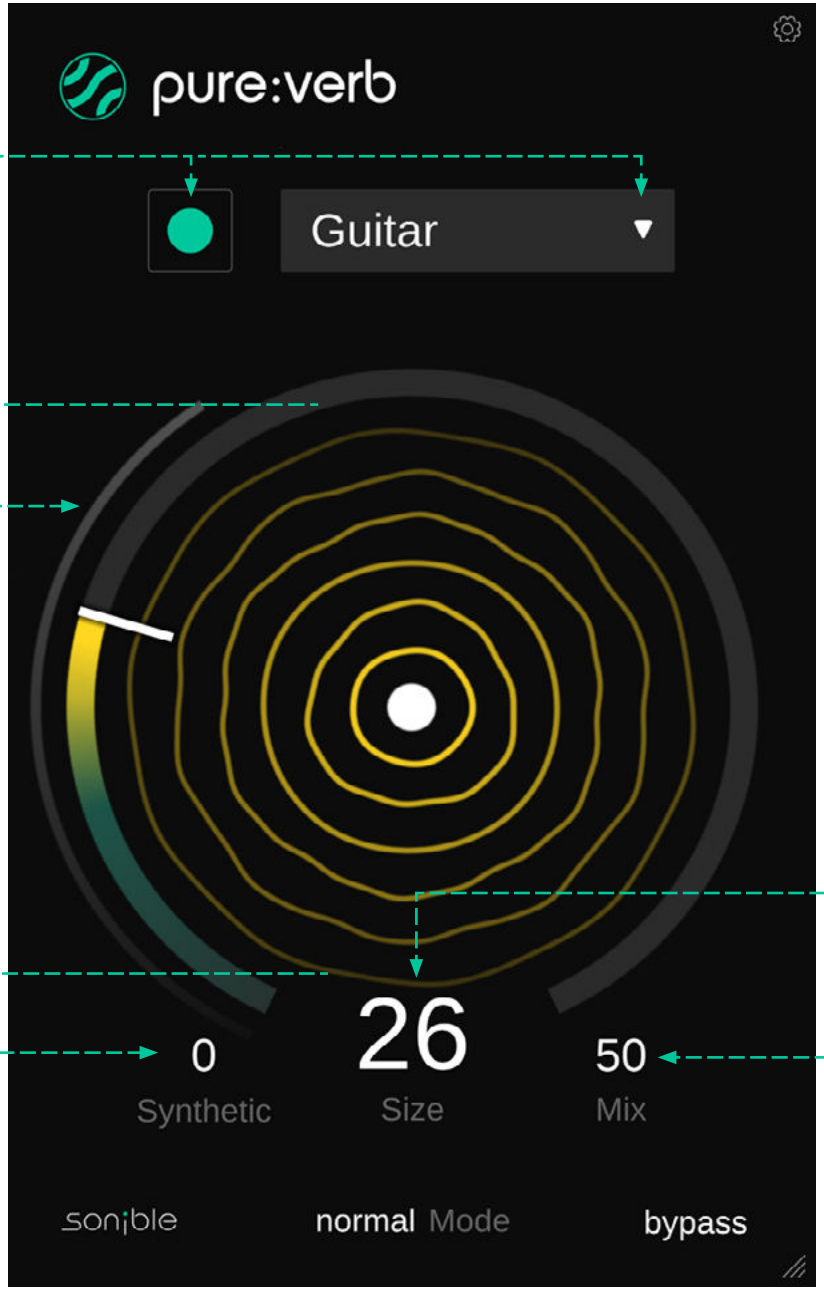
インターネット接続の条件

sonibleプラグインは、試用期間中と最初のライセンス認証時にのみインターネットに接続する必要があります。試用期間中は、プラグインを使用するたびにインターネットに接続する必要があります。プラグインのライセンスが正常にアクティベートされると、インターネット接続は不要になります。





ユーザーインターフェイス



学習セクション
学習セクションを開始し、プロファイルを選択します。

アウトプットメーター
出力信号のレベルをモニターします。

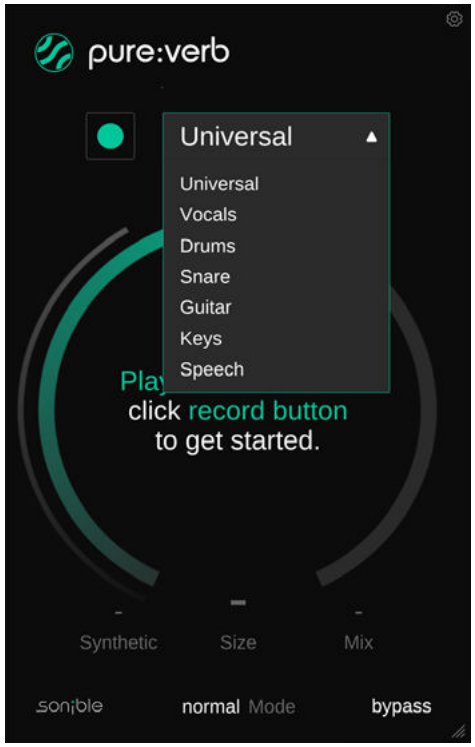
リバーブディスプレイ
リバーブエフェクトをリアルタイムでモニターします。

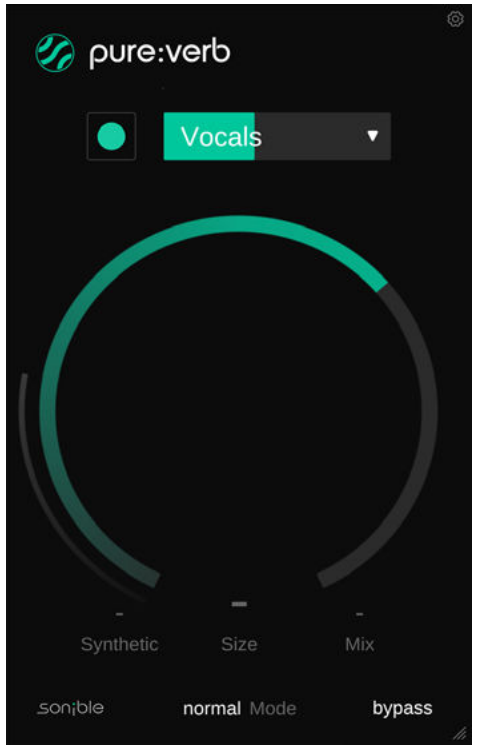
シンセティック
人工的なシンセティックリバーブキャラクターを調整します。

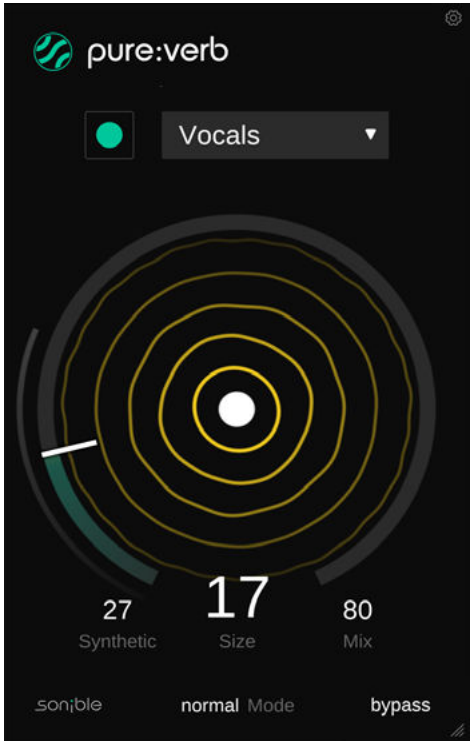
サイズ
バーチャルリバーブ空間の大きさをコントロールします。

ミックス
ダイレクトの音とリバーブエフェクトの関係をコントロールします。

pure:verbは、独自の学習機能を備えており、プラグインが計算するすべてのリバーブが、入力信号のスペクトルと時間的特性に適合します。







1. プロファイル

プロファイルは、pure:verbの処理を特定のサウンドソースに合わせて調整します。「Universal」プロファイルで学習プロセスを開始し、後で特定のプロファイルに切り替えることができます。

2. 再生と学習

pure:verbは、学習プロセスのためにオーディオ信号の入力が必要です。再生を開始したら、緑の録音ボタンをクリックし、pure:verbにあなたの信号を聞かせます。

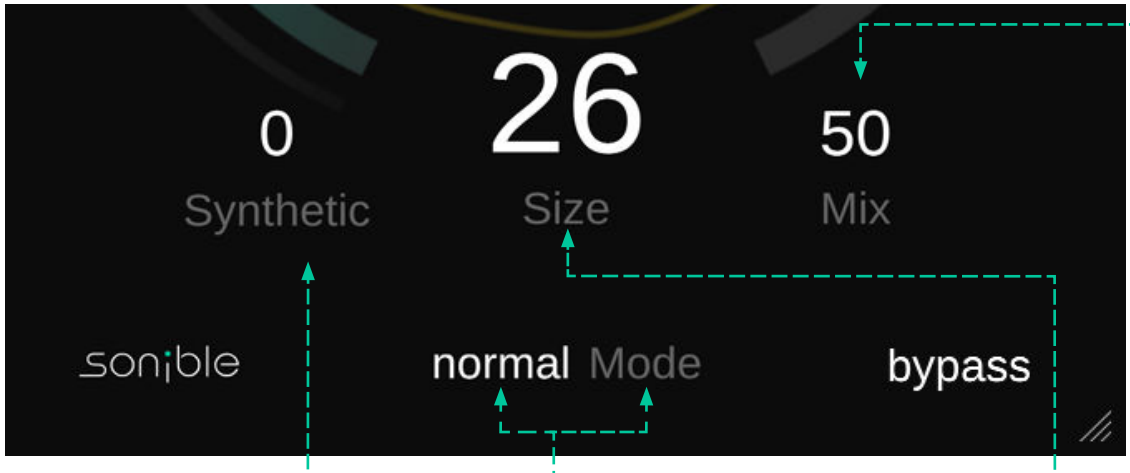
3. 完了！

学習が完了すると、pure:verbは自動的に全てのプラグインパラメータを設定し、ロックを解除します。

ヒント：もし異なるセクションの入力信号をプラグインに学習させた場合は、そこからオーディオ再生を開始して再び学習ボタンをクリックするだけです。入力信号を入れ替えた場合(別のサンプルを使用した場合など)には、必ず学習プロセスを再度行ってください。そうしないと、リバーブエフェクトが信号に合わなくなります。

細かな調整

pure:verbの高度な処理によって、瞬時にあなたのオーディオのためのリバーブスペースを見つけることができますが、あなたのサウンドビジョンに合わせて結果を微調整することもできます。



ミックス

ミックスパラメータは、ドライ(ダイレクト)信号とウェット(残響)信号の関係をコントロールします。値が高いほど、ウェット信号の割合が高くなります。pure:verbをインサートエフェクトとして使用する場合、通常10%から50%の間のミックス値を使用します。pure:verbをセンドエフェクトとして使用する場合、出力が後でDAWのミキサー内ドライ信号とミックスされるため、ミックス値は100%(ウェット信号のみ)にすることができます。

シンセティック

シンセティックパラメータを使えば、リバーブに人工的なキャラクターを与えることができます。

0に近い値
シンセティックの値を0に近づけるとあたかも実際の環境で録音されたかのような自然なリバーブになります。このリバーブは、信号のキャラクターをあまり変えることなく仕上げることができます。アコースティック楽器やクリーンなボーカルを扱う場合に非常に効果的です。

100に近い値
シンセティックの値を100に近づけると、人工的なリバーブになり、実際の部屋をシミュレートせず、様々なリバーブ特性で再生します。信号のキャラクターを意図的に変化させ、リバーブを明確にクリエイティブなエフェクトとして聞かせたい場合に、人工的なサウンドのリバーブを使用します。

リバーブモード

ノーマルモードでは、典型的なリバーブエフェクトとして動作します。このモードは、単に音源を(リアルな)バーチャルリバーブ空間におきたい場合に適しています。

インフィニット
インフィニットモードでは、無限のリバーブタイムを生成します。このモードは、アンビエントサウンドを織り交ぜたレイヤーを作りたい場合に最適です。

リバース
リバースモードは、リバーブエフェクトが反転します。このモードは、ドラムのようなトランジェントサウンドに対して興味深いサウンドエフェクトを生み出します。

バウンス
バウンスモードでは、リバーブエフェクトが前後に跳ね返ります。サイズを大きな値にして使用すると、美しいリズミカルなパターンを生成できます。

サイズ

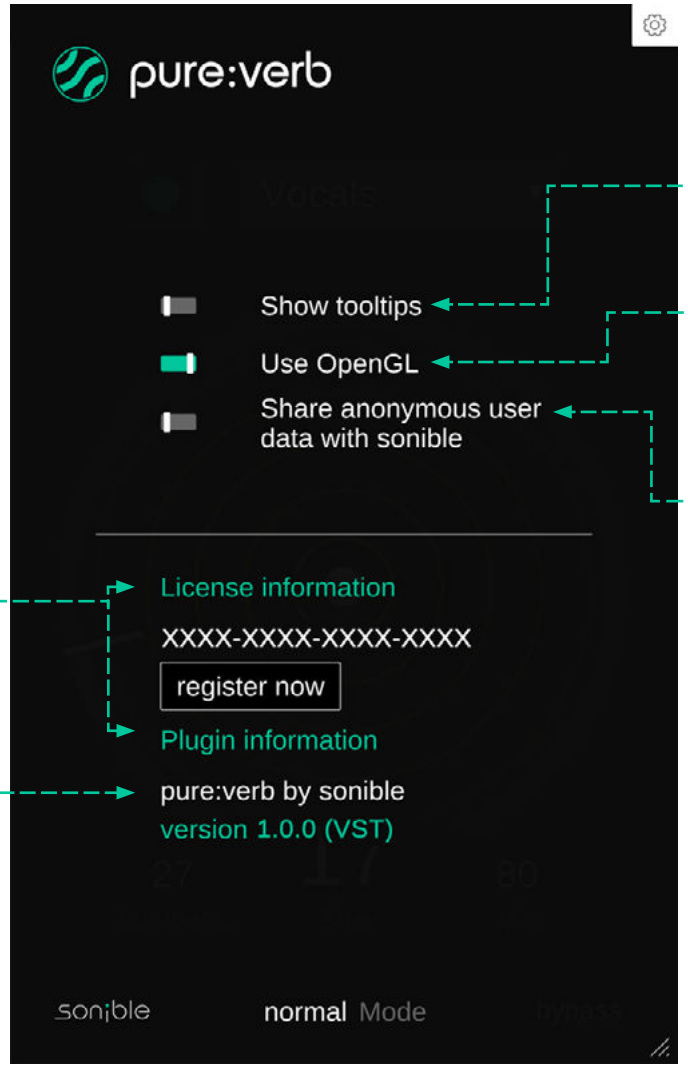
サイズパラメータは、バーチャルリバーブ空間のサイズをコントロールできます。リバーブディスプレイの動く円は、結果として得られるリバーブエフェクトへの影響を視覚化します。

小さなサイズ値
リバーブ空間が小さい(サイズ値が小さい)と、リバーブタイムがかなり短くなります。これは、サウンドに暖かくパーソナルなタッチを与える親密なリバーブエフェクトにつながります。

大きなサイズ値
リバーブ空間を大きく(サイズ値を大きく)すると、リバーブタイムが長くなり、より没入感のある濃密なリバーブエフェクトが得られます。大きなリバーブ空間は、濃密で鮮やかなリバーブに完全に浸したいシンセパッドやオーケストラサウンドを扱う場合などに最適です。

設定ページ

設定画面は、右上の歯車アイコンからアクセスできます。



ツールチップを表示
ホバー時のツールチップ表示オンオフを設定します。

OpenGLを使用
OpenGLは、特定のコンピューターハードウェアでレンダリングの問題を引き起こす場合があります。このオプションを使用して、OpenGLを無効にします。

匿名のユーザーデータをsonibleと共有する
完全に匿名化されたユーザーデータをsonibleと共有し、pure:verbの改善に役立てることができます。

プラグインとライセンス情報
ここには、プラグインの名前とバージョン、ライセンスキー(iLok経由でライセンスされていない場合)が表示されます。

更新のお知らせ
プラグインの新しいバージョンが利用可能になると、ここに通知が届き、pure:verbのメインビューの歯車アイコンにも小さな点が表示されます。緑色のテキストをクリックすると、最新版がダウンロードできます。

www.sonible.com/pureverb

すべての仕様は、予告なく変更されることがあります。

©2023, sonible GmbH. すべての権利を保有します。オーストリアの
sonible社によって設計・デザインされました。

sonible GmbH
Haydngasse 10/1
8010 Graz
Austria
contact@sonible.com

www.sonible.com